

広島県の地震

2019(令和元)年6月

目次

広島県及びその周辺の地震活動…………… 1～2

震央分布図・断面図と地震概況

広島県における震度1以上の地震…………… 2～5

震度一覧表と震度分布図

地震メモ 第181回…………… 6～7

いつ起こるか分からない地震・津波に備える

本資料は、国立研究開発法人防災科学技術研究所、北海道大学、弘前大学、東北大学、東京大学、名古屋大学、京都大学、高知大学、九州大学、鹿児島大学、国立研究開発法人産業技術総合研究所、国土地理院、国立研究開発法人海洋研究開発機構、公益財団法人地震予知総合研究振興会、青森県、東京都、静岡県、神奈川県温泉地学研究所及び気象庁のデータを用いて作成しています。また、2016年熊本地震合同観測グループのオンライン臨時観測点（河原、熊野座）、米国大学間地震学研究連合（IRIS）の観測点（台北、玉峰、寧安橋、玉里、台東）のデータを用いて作成しています。

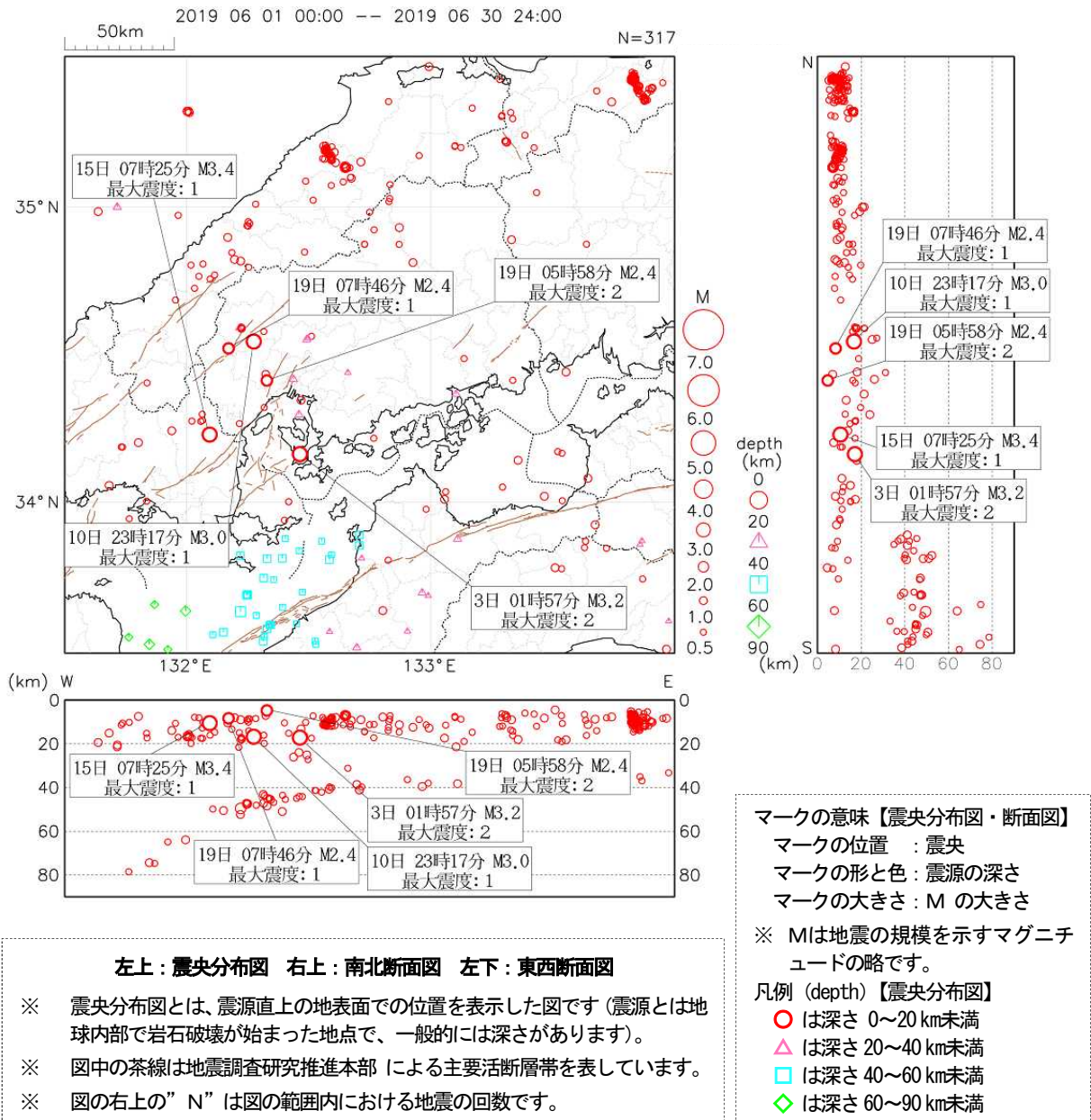
なお、本資料の震源要素及び震度データは暫定値であり、後日再調査のうえ、修正されることがあります。

広島地方気象台

広島県及びその周辺の地震活動

【震央分布図・断面図】

2019年6月1日～6月30日



【地震概況】

この期間、広島県内で震度1以上を観測した地震は5回（前月4回）でした。

3日01時57分 安芸灘の地震（深さ17km、M3.2）により、広島県廿日市市で震度2を観測したほか、広島県内の各地で震度1を観測しました。

10日23時17分 広島県北部の地震（深さ17km、M3.0）により、広島県北広島町・広島市佐伯区で震度1を観測しました。

15日07時25分 山口県東部の地震（深さ11km、M3.4）により、島根県吉賀町、広島県広島市安佐北区・広島市佐伯区・廿日市市、山口県岩国市で震度1を観測しました。

19日05時58分 広島県南西部の地震（深さ5km、M2.4）により、広島県広島市佐伯区で震度2を観測したほか、広島市西区で震度1を観測しました。

19日07時46分 広島県南西部の地震（深さ8km、M2.4）により、広島県廿日市市で震度1

を観測しました。

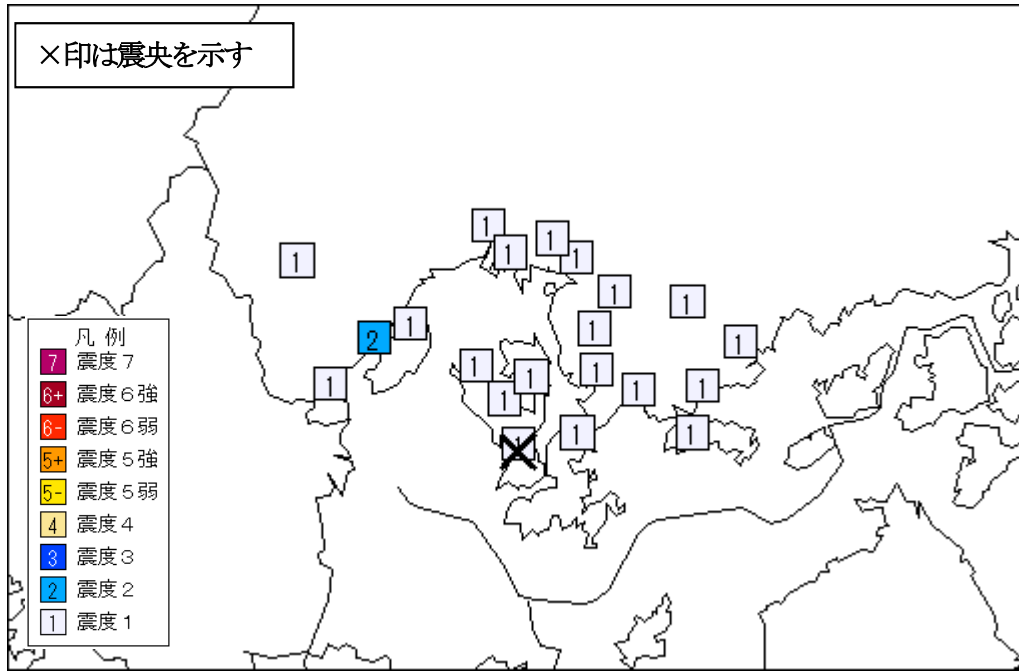
広島県における震度 1 以上の地震

【震度一覧表】

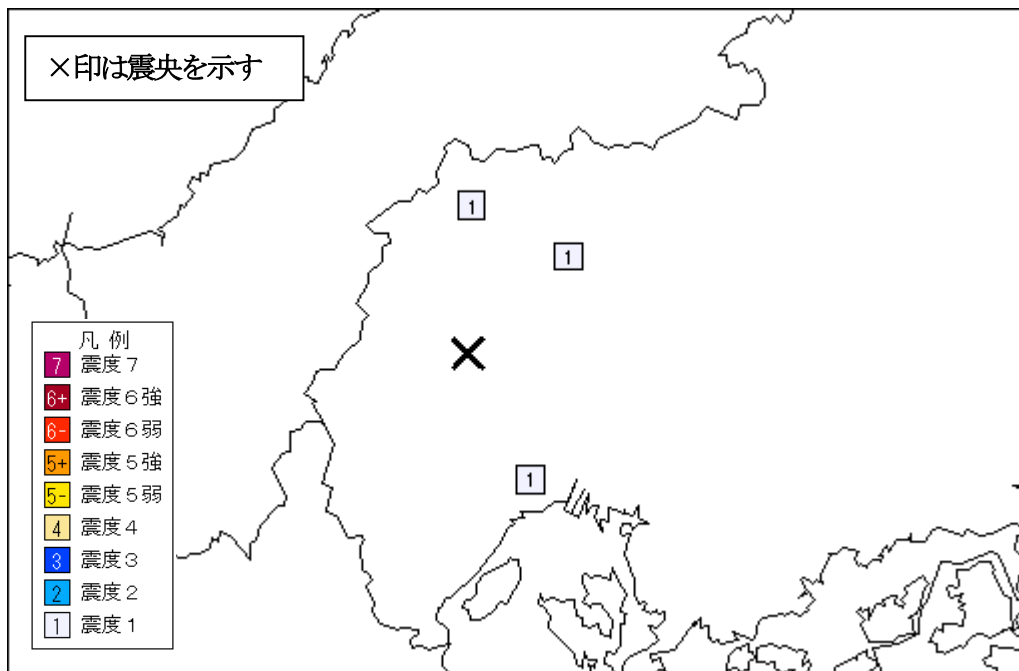
発震時刻 (年月日時分)	震央地名	緯度	経度	深さ	M
広島県内の各地の震度 マグニチュード					
2019年06月03日01時57分	安芸灘	34° 09.7' N	132° 27.8' E	17km	M3.2
————— 地点震度 —————					
広島県	震度 2 : 廿日市市大野*				
	震度 1 : 広島中区羽衣町*, 広島西区己斐*, 呉市二河町*, 呉市広*, 呉市下蒲刈町*, 呉市焼山*, 呉市川尻町*, 呉市音戸町*, 呉市安浦町*, 大竹市小方*, 東広島市黒瀬町, 廿日市市津田*, 廿日市市宮島町*, 府中町大通り*, 海田町上市*, 熊野町役場*, 江田島市江田島町*, 江田島市沖美町*, 江田島市大柿町*, 江田島市能美町*				
—————					
2019年06月10日23時17分	広島県北部	34° 32.7' N	132° 16.5' E	17km	M3.0
————— 地点震度 —————					
広島県	震度 1 : 北広島町都志見, 北広島町川小田*, 広島佐伯区利松*				
—————					
2019年06月15日07時25分	山口県東部	34° 13.7' N	132° 05.7' E	11km	M3.4
————— 地点震度 —————					
広島県	震度 1 : 広島安佐北区可部南*, 広島佐伯区利松*, 廿日市市津田*				
—————					
2019年06月19日05時58分	広島県南西部	34° 24.7' N	132° 19.7' E	5km	M2.4
————— 地点震度 —————					
広島県	震度 2 : 広島佐伯区利松*				
	震度 1 : 広島西区己斐*				
—————					
2019年06月19日07時46分	広島県南西部	34° 31.3' N	132° 10.3' E	8km	M2.4
————— 地点震度 —————					
広島県	震度 1 : 廿日市市吉和*				

注) 震度の地名に*印を付したものは、広島県又は防災科学技術研究所の震度観測点によるものです。

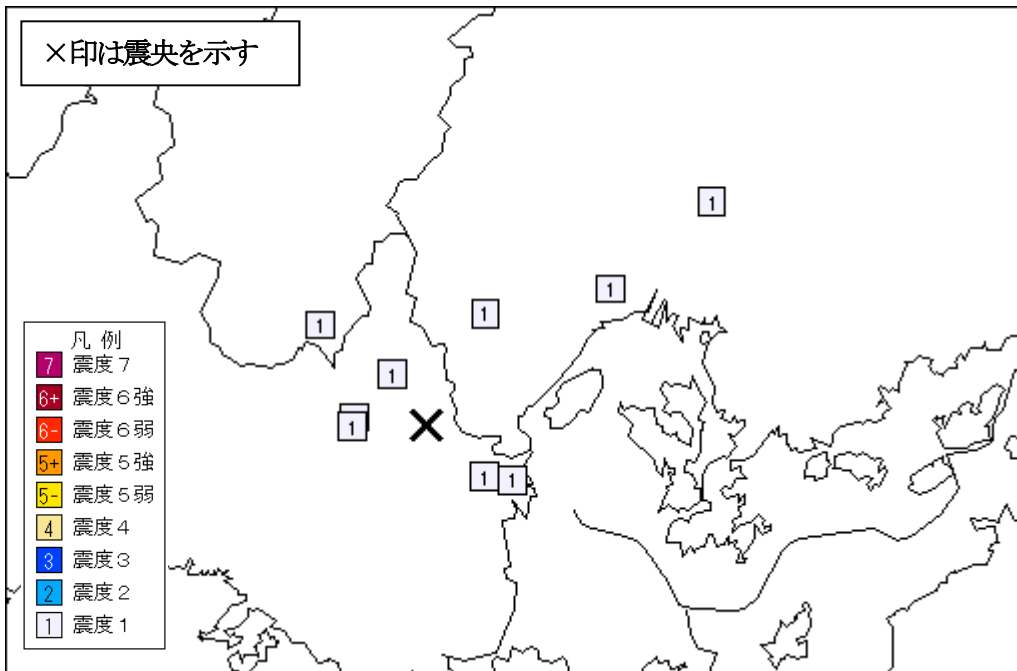
【震度分布図】



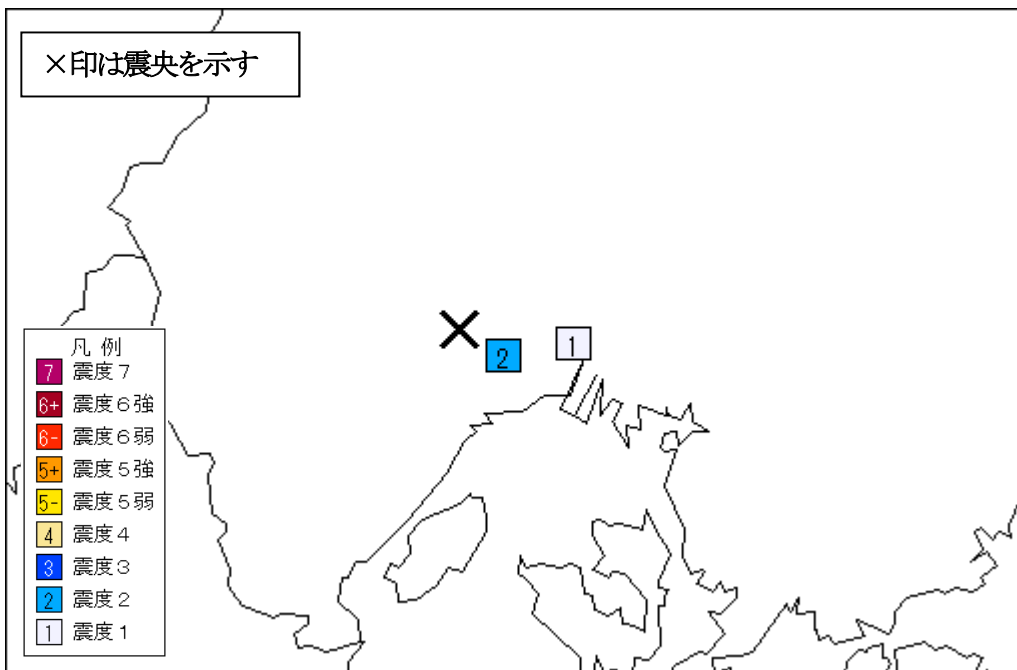
2019年06月03日01時57分 「安芸灘」の地震の観測点震度分布図



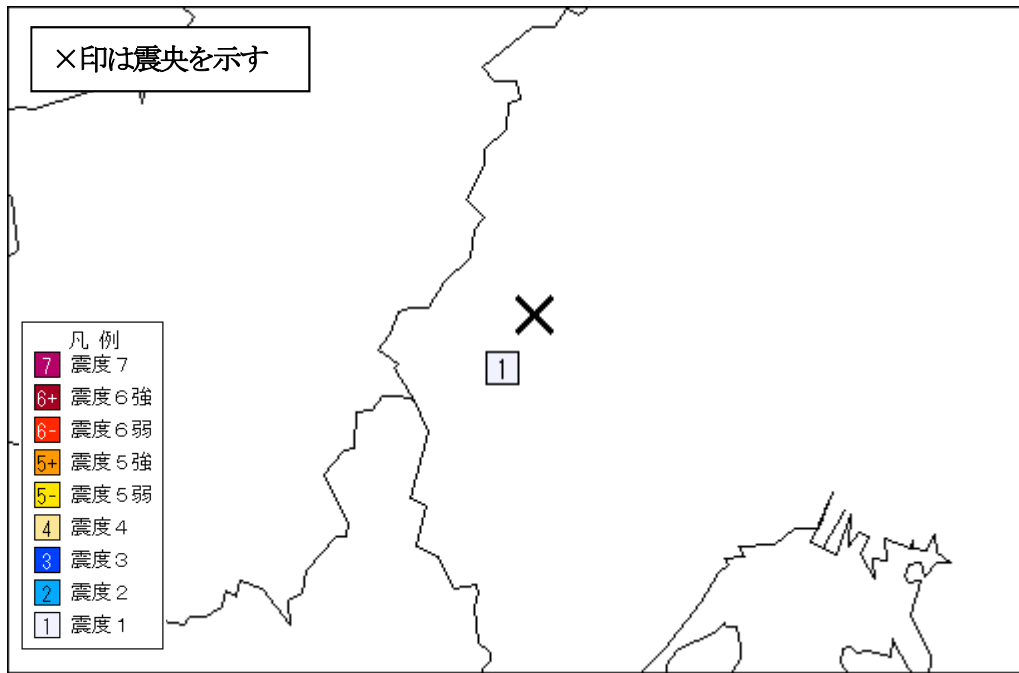
2019年06月10日23時17分 「広島県北部」の地震の観測点震度分布図



2019年06月15日07時25分 「山口県東部」の地震の観測点震度分布図



2019年06月19日05時58分 「広島県南西部」の地震の観測点震度分布図



2019年06月19日07時46分 「広島県南西部」の地震の観測点震度分布図

地震メモ いつ起こるか分からない地震・津波に備える

第 181 回

令和元年6月18日22時22分に山形県沖でマグニチュード6.7の地震（深さ14km）が発生し、新潟県村上市で最大震度6強を観測したほか、北海道から中部地方にかけて震度6弱～1を観測しました。この地震に対して気象庁は、津波注意報を山形県、新潟県上中下越、佐渡、石川県能登に発表しました。この地震により、山形県で最大11cmの津波を観測したほか、秋田県・新潟県・石川県の沿岸で津波を観測しました。また、この地震により、重傷8人、軽傷33人などの被害が生じました（7月1日現在、総務省消防庁による）。

北海道沖から新潟県沖にかけての日本海東縁部では、過去にも1833年庄内沖の地震（M7.5、死者97名）、1964年新潟地震（M7.5、死者26名）、1983年日本海中部地震（M7.7、死者104名）、1993年北海道南西沖地震（M7.8、死者202名）等、津波を伴って甚大な被害をもたらした大地震が発生しています。



平成5(1993)年7月12日 北海道南西沖地震

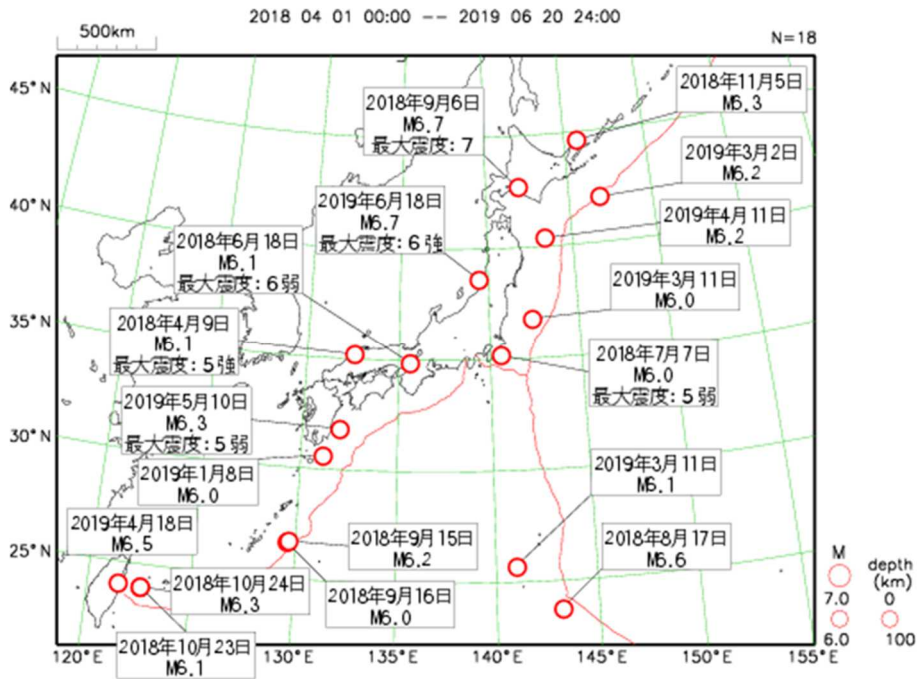


平成5(1993)年7月12日 北海道南西沖地震

次の図は、2018年4月1日～2019年6月20日までに、日本及びその周辺で発生したマグニチュード6以上の地震をプロットしたものです。

この図を見ると、前述の山形県沖の地震以外にも北海道胆振地方中東部（M6.7）、大阪府北部（M6.1）、島根県西部（M6.1）、日向灘（M6.3）等、1年2か月の間で18回発生しており、1か月に1回程度は、日本及びその周辺でマグニチュード6以上の地震が発生していることが分かります。

日本においては、マグニチュード6～7クラスの地震はいつ、どこで発生してもおかしくありません。自分だけは大丈夫という意識を変え、平常時から家具の転倒防止や避難ルートの確認など、備えておくことが大切です。



震央分布図 (M \geq 6.0)



平成30年北海道胆振東部地震
地震発生後



平成30年北海道胆振東部地震
地震発生前

(日本付近で発生した主な被害地震 (平成8年以降))

<https://www.data.jma.go.jp/svd/eqev/data/higai/higai1996-new.html#higai1996>

(明治以降1995年までに、我が国で100人以上の死者・行方不明者を出した地震・津波)

<https://www.data.jma.go.jp/svd/eqev/data/higai/higai-1995.html>